



冬を安心して過ごすために

ここでは、冬を安心して過ごすための家庭でできることを紹介しています。ぜひご覧ください。



大雪による停電や孤立に備えて

問 総務課危機管理室 (☎ 53・3365)

倒木や倒竹による停電

- ・12月の雪は重く、倒木による停電や通行止めが起こる場合があります。懐中電灯などの明かりの準備や寒さ対策として、毛布などを用意しましょう。

大雪による孤立

- ・道路などの寸断により、孤立する恐れがあります。最低でも1週間分の備蓄品を準備しましょう。

備蓄品の例

- 懐中電灯
- 携帯ラジオ
- カセットコンロ
- 燃料
- カイロ
- 食料
- 飲料水
- 医薬品

今年の冬は極端な雪の降り方が予想されます。早めの備えで安全に冬を過ごしましょう。

除雪中の事故

- ・除雪は複数人で行いましょう。
- ・雪下ろしは事前に安全対策をとりましょう。
- ・除雪機の雪を取り除くときは、エンジンを止めてから作業しましょう。

吹雪や立ち往生

- ・スタッドレスタイヤへの交換は早めに行い、車にも毛布や食料を備えておきましょう。



大雪による倒木で通れない道路 (令和4年12月)



高齢者等除雪費援助事業

問 介護高齢課高齢者支援室 (☎ 75・8935)

高齢者世帯

- ・おおむね65歳以上の高齢者単身世帯や高齢者のみの世帯で、市民税非課税または均等割のみ課税の世帯

障がい者世帯

- ・障害者手帳などの交付を受けている障がい者単身世帯
- ・障がい者のみの世帯や障がい者と高齢者の世帯で、市民税非課税または均等割のみ課税の世帯

対象となる除雪の範囲

- ・避難経路…玄関から道路までなど避難経路の除雪
- ・屋根の雪下ろし…居住している家屋の屋根
- ・排雪作業…屋根の雪下ろしに伴う排雪作業

支給額

- ・屋根の雪下ろしや排雪 1回につき10,000円まで
 - ・避難経路確保の除雪 1回につき1,000円まで
- ※どちらも同一年度中に3回まで支給します



冬の交通事故防止運動

問 市民課生活人権室 (☎ 53・3363)

年末に近づく、人や車の動きが慌ただしくなるだけでなく、冬の気候や飲酒の機会が増え、交通事故が多発するおそれがあります。

日ごろから交通ルールを守り、正しい交通マナーを習慣づけることで、事故に遭わない、事故を起こさないよう心がけましょう。

■ 期間 12月11日(木)～20日(土)

■ スローガン

冬の道 慌てず急がず 安全運転

運動の重点

- ・横断歩行者の交通事故防止
- ・渡るよサインの活用
- ・飲酒運転の根絶
- ・冬道の安全走行



LPガス設備

問 (一社) 新潟県LPガス協会 (☎ 025・267・3171)

雪下ろしの注意

屋根の雪下ろしの際は、周囲のLPガス設備に十分注意しましょう。

排気筒の点検

排気筒や吸気口が雪でふさがれていないか、損傷がないか点検し、換気を忘れずに。

除雪の徹底

LPガス容器やメーター周辺、屋外給湯器などが雪に埋もれないように点検してください。



灯油

問 消防本部予防課危険物係 (☎ 53・7222)

寒くなると暖房器具の使用が増え、ホームタンクの灯油が河川に流出するなどの事故が発生することがあります。灯油の流失事故の7割は一般家庭で発生しています。一人一人が注意して、きれいな環境を守りましょう。

ホームタンク使用時の注意点

配管の管理 落雪などによる破損に注意してください。小まめな除雪を。

給油時の注意 給油中は離れず、終了後はバルブを完全に閉めましょう。



水道管

問 上下水道課業務室 (☎ 66・6190)

予防策

- ・屋外の水道管に保温材を巻く
- ・長期不在時は休止手続きを

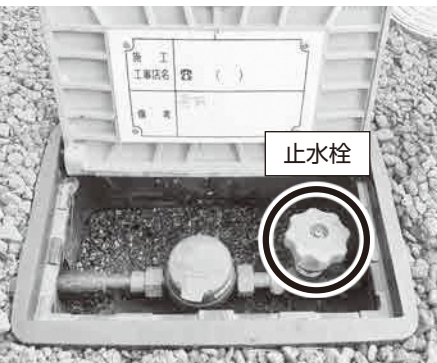
凍結時

- ・タオルをかぶせて、ゆっくりぬるま湯をかけて溶かす

破損したら

- ・止水栓を閉めて、市指定の給水装置工事業者に修理を依頼する

止水栓



※止水栓にはさまざまな種類があります



ヒートショック

問 消防本部警防課救急係 (☎ 53・7223)

ヒートショックは気温の変化によって血圧が乱高下して、心臓や血管に負荷がかかることです。心筋梗塞や脳梗塞などの病気を引き起こし、入浴中の死者数は交通事故の約2倍といわれています。

ヒートショックが起こりやすい場面

入浴時

暖かい部屋から寒い脱衣所へ移動し、熱いお湯に浸かる時や浴槽から出た直後

トイレ

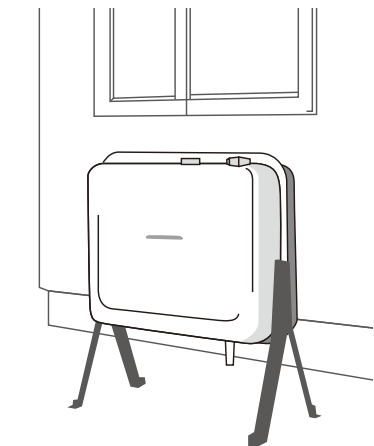
布団から出て、暖房が効いていない寒いトイレへ行く時

室内と浴室などの急激な温度変化がある場面は要注意



異常を感じたら

ガス漏れや燃焼器具に異常があった場合は、器具の使用を中止し、LPガス販売店に連絡してください。ガスメーターからの無線通報により、販売店または保安機関から連絡が入る場合があります。



安全に入浴するための注意点

- ・事前に脱衣場や浴室を暖めてから、41度以下のお湯に10分までを目安に入浴しましょう。
- ・浴槽から急に立ち上がらないようにしましょう。立ちくらみに気を付けてください。
- ・食後すぐの入浴や飲酒後、医薬品服用後の入浴は避けましょう。
- ・入浴する前には、同居者に一声かけて意識してもらいましょう。

(出典：政府広報オンライン)